

Ⅲ-4 困ったことへの対処法

子どもが成長するにつれて、活動範囲が広がり、交友関係も広がってきますね。すると保護者としては、今までとは違った形の「困ったなあ…」と感じる事態に遭遇することも増えてきます。ここでは、子育てに係る様々な問題への対処法について、みなさんで考えましょう。

エピソードの事例をもとにして、「困った事態に直面した子どもにどう接していけばいいか。」「どう解決していけばいいか。」について話し合みましょう。



【エピソード】「もう学校へ行きたくない」

小学校3年生の太郎君。保護者から見るととても優しい子ではありますが、少々気が小さくて、自分の思いをはっきりと言にくいことが気がかりでした。でも、毎日元気に学校へ出かけていく姿をみて、まあ楽しくやっているのだろうと安心していましたが、ある日、「もう学校へ行きたくない。」と泣いて帰ってきました。いくら理由を尋ねても話したがりません。

～業間休み、ドッジボールに入れてもらおうと、じっと長い間様子を見守り、やっとなのことで勇気を出して「入れて」とお願いしたところ、次郎君に「人数が合わなくなるからダメ」と言われてしまったようです。～

ワーク1 ★ 泣いているばかりの太郎君。どんな声かけをしていけば、理由を話してくれるでしょう。また、理由を聞いた保護者の気持ちは？

- **ロールプレイに挑戦！**
 - ・グループの中で、太郎君役と保護者役を決めて、役割演技をしてみましょう。
 - ・二人の役以外の方は、やりとりを見て、感じたことを後で話し合みましょう。



- 「太郎君の気持ち」「保護者の気持ち」について話し合みましょう！

太郎君の気持ち

保護者の気持ち

ワーク2 ★ 太郎君の問題を解決するために、どう対応していけば良いでしょう？

● あなたならどうしますか？

- 太郎君との話で収める。
- 家族で相談する。
- 次郎君の家へ電話する。
- 担任の先生へ連絡する。
- 周りの保護者に相談する。
- その他 ()



● その後の展開を想像してみましょう。

● 後日、太郎君のことを知らされた次郎君の保護者はどうしたらよいでしょう？

ワーク3

● エピソード以外の事例についても、対応方法を自由に話し合い、日頃から心がけておくことについてグループでまとめましょう。

<想定される困った事例>

- 家でのくらしの中で
 - ・テレビやゲームに夢中で、やるべきことをしようとしめない…。
 - ・急に反抗的になって、言うことを聞かなくなってしま…。
- 学校や地域でのくらしの中で
 - ・友達に、学用品をこわされてしま…。
 - ・ふざけていて、友達にけがをさせてしま…。
 - ・友達に誘われて、一緒に万引きをしてしま…。

日頃から、こんなことをしておけば！

- ・
- ・

ふりかえり

● このワークを通して、「気付いたこと」「やってみようと思ったこと」を書きしょう。